

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・前期・後期で支援目標を設定し、3か月ごとの中間面談でモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・どのケースも管理者で相談支援専門員の園長が参画している。必要に応じて担任も参加。	・今後も継続する
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要により、随時連携を行っている	・今後も必要なケースを早期に見極め、関係機関との連携や支援を行う
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			なし	なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			なし	なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・学校や幼稚園や保育園等に移行した際には引き継ぎ資料を作成し、情報共有と相互理解に努めている。	・現状を継続したい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・引継ぎ資料作成、引継ぎ会議を実施している。	・現状を継続するとともに、継続した支援が行いやすいよう、伝え方などをさらに工夫したい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・研修講師、支援SVの依頼、他機関主催研修への参加。	・職員全員で学びを深めるために、今後も連携や助言等を継続してほしい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・保育所との交流を年3回計画したが、コロナで実施できなかった。	・子どもの育ちに貴重な時間のため、復活させ、お互いの児童の成長を高め合う機会にしていきたい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・博多区基幹相談支援センターが主催する博多っ子未来ネットワーク会議に参加。	・今後も継続。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日頃より、面談、家庭訪問、おたよりノートなどで、児の発達状況等を伝え、保護者と子どもの状況や発達を共有している。	・保護者からのニーズにも応じることはもちろんのこと、自分から申し出のない保護者や配慮の必要な保護者への対応にも気を配っていきたい。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		・独自に開発したプログラムでペアレントトレーニングを行っている。	・できるだけ多くの保護者に学びの機会を提供できるよう、実施形態を工夫していきたい。